

平成8年度第5回日本生物物理学会議事録

日時：1996年11月7日

場所：生命研第二本館2F会議室（つくば）

出席者： 宝谷会長、津田副会長、石渡副会長、葛西、木下、桐野、郷（信）
郷（通）、徳永、日比野、宮本、安永、柳田、垣谷、豊島、美宅

報告事項：

1. 年会の進行状況について（宮本）

宮本委員より、本年度学会の進行状況について報告があった。事前登録者が、916名で、ポスター参加者も昨年並みであることが報告された。例年よりも展示を充実させた。当日参加者は150名を数え、経費は50万円程度の黒字が見込まれることが報告された。

2. 第2回東アジア生物物理学シンポジウムの講演者（追加分）（宝谷）：資料1

東アジア生物物理学シンポジウムの追加講演者7名が報告された。これまで、話したことの無い人を中心に、広い分野からの講演者を選出できた旨報告があった。追加講演者を含む15名の講演者を運営委員会で承認した。

3. 会員名簿刊行について（宝谷）

会員名簿の刊行へ向けて準備が始まったことが報告された。懸案であった電子メールを載せるかどうかについては、のせることにした。今後、アンケートがあり、新しい名簿作成が始まる。

議題：

1. 平成8年度第3回運営委員会議事録の訂正について（宝谷）

第3回運営委員会議事録の光生物学協会に関する項での名前間違いが訂正され、承認された。

2. 運営委員会議事録の承認の方法について（宝谷）

運営委員会議事録の承認の方法の変更について提案があった。運営委員会終了後、1から2週間以内に議事録案を作成し、電子メールを通して、運営委員に承認を得る。これに

より生物物理学会誌・学会ニュースの欄に掲載する議事報告の迅速な作成が可能となる。
以上の提案は、承認された。

3. 平成8年度中間決算報告の承認（桐野）：資料2

総会で報告する平成8年度中間決算報告の報告があった。会誌出版費（1号から4号まで）が予算を上回る事が指摘された。これは、広告量の増加と表紙の印刷によるものであることが指摘された。来年度予算からは、広告経費を別枠で扱い純粋に会誌出版費として扱うことが出来るようにする。

学術会合費は、若手の会への支援であることが報告された。また、後に、光生物学協会への参加費1万円も含まれていることが報告された。センター業務委託に関しては、未請求の部分があり、過不足なく執行される予定。支部費は、3支部x6万円であることなどを確認した。以上の報告は承認された。

4. 平成9年度予算案の承認（桐野）：資料3

総会で報告する平成9年度予算案の報告があった。本年度は、会誌出版費と広告経費を分割し、明朗な会計が出来るようにした。また、年会費の経費と予稿集代の経費を一括して年会費として取り扱うようにし、年会が独立会計の形となるようにした。また、本年度は、名簿作成の年度であるので、名簿作成費が例年よりも余計にかかることが、報告された。

収入として広告費を500万円と見積もっている点に関して、木下委員より多すぎるとの指摘があったが、宝谷会長の縮小会計は良くないとの指摘により、500万円を計上することになった。

以上の報告により平成9年度予算案が承認された。

資料4：木下委員

広告状況についての資料が配付された。